

第二十一回帝國議會 傳染病豫防法中改正法律案委員會會議錄(速記)第四回

會議

明治三十八年二月十八日午後零時二十分開議

出席委員左ノ如シ

長 晴登君

鈴木 友治郎君

澤田 耕治郎君

出席政府委員左ノ如シ

山根 正次君

西村 專太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 窪田靜太郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

內務省衛生局防疫課長 野田 忠廣君

本日の會議ニ上リタル議案左ノ如シ

傳染病豫防法中改正法律案

○委員長晴登君 是ヨリ開會致シマス、昨日御委託ニナツタコトニ付イテ、調査ヲ

シテ其結果、提出案ニ對シテ修正ヲ加ヘタ、其結果ヲ御報告申上ゲマス、第一條ノ修

正案ハ、全然是ハ必要ナシト認メテ削除致シマス、ソレカラ第十一條ノ削除案ハ、削

除セザルコトニ極メマシタ、ソレカラ第十二條ノ修正案ハ、之ヲ否決致シマス、ソレカラ

第十三條ノ提出案モ、是モ否決致シマス、ソレカラ第十四條ハ提出案ノ通、ソコデ

更ニ十六條ノ次ニ、左ノ一條ヲ加ヘマシタ、即チ十六條ノ二ニ「市町村ハ地方長官ノ指

示ニ從ヒ鼠族ノ驅除及之ニ關スル施設ヲ爲スヘシ」之ヲ加ヘタ次第アリマス、其理由

ハ即チ大體決議ニ於テ鼠族ノ驅除ノ費用ハ、市町村費ヲ以テアルト云フ結果カラ、此

條項ヲ加ヘル必要ノタメニ、此條項ヲ加ヘタ次第アリマス、十七條十八條ハ提出案

ノ通、十七條ノ提出案ノ文字ヲ、第十七條ノ「トシ」ト云フ三字ヲ削リマシタ、單ニ

「第十七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ」斯ウ云フ風ニ、修正致シマス、第十八條ノ方ハ斯

樣ニ改メマシタ、第三項中「其ノ地」ヲ「附近」ニ改メ「收容治療セシ」ノ下ニ「メ及病毒

感染ノ疑アル者」附近市町村立ノ隔離所ニ入ラシ「即チ附近ト云フ文字ノ下ニアル

「ノ」ノ字ヲ一箇所ニ於テ除イタ次第アリマス、第三項ノ所ハ提出案ノ通致シマス、第

十九條モ提出案ノ通り、第十九條ノ方ハ第一號トアツタノヲ、第一ノ「號」ノ文字ヲ削

リ、「第一」ヲ左ノ如ク改ム「トシ」マシタ、同條第二號中「又ハ」若「以下ノ文字ニ對シテ

ハ、第二」中出シ入レフセズシテ、「又ハ」若「ト云フ字ニ改メマシタ、ソレカラ同條ノ「第

八號」ト云フ「第八」トシ、「號」ノ字ヲ削除シマス、同條第六ノ左ノ如ク改ム「トシ

テ、追加シマシタ、同條第六ノ左ノ如ク改メ「第六」汽車船舶製造所若クハ多人數ノ集

合スル場所ニ醫師ヲ雇入レ其他豫防上必要ナル設置ヲ爲サシムルコト」トシ、第六ノ更

ニ修正スルコトニ追加シマシタ、ソレカラ又同條ノ「第八號」ト云フ「同條第八」トシ、

此「號」ノ字ヲ除イタ次第アリマス、其本文ニ致シ「ベスト」豫防ニ對シテハ「ノ」文字ヲ

削除シマシタ、即チ「九鼠族ノ驅除及之ニ關スル施設ヲナサシムルコト」ト云フ具合ニ

修正致シマシタ、ソレカラ第十九條ノ「トシ」ト云フ文字ヲ削除シテ「第十九條ノ次ニ

左ノ一條ヲ加フ」ト修正シマス、ソレカラ第十九條ノ二ニ於テ、「市町村」ノ下ニ「會」

一字ヲ加ヘマシタ、他ハ提出案ノ通アリマス、第二十一條ノ提出案ヲ、斯樣ニ修正シ

マス、第二十一條第一項第六號中「交通遮斷」ノ下ニ「隔離」ヲ加フト、斯樣ニ修

正シマス、同條第一項第七號ノ次「トアル」ヲ「同條第七」ノ左ノ三項ヲ加フト改

メマシタ、其本文デハ、八ニ對シテ「市町村ニ於テ鼠族ノ驅除及其施設ニ關スル諸費」

ト改メマシタ、即チ八ノ本文ハ「第十七條ノ二」依リ「云々」ト改メ、ソレカラ其次ハ「第

十七條ノ二」依リ「更ニ第十條ヲ置イテ」第十九條ノ二ニ依リ「交付スヘキ手當金」ト、斯

樣ニ二十一條ハ修正シマス、第二十二條ハ提出案ノ通、第二條ニ至ッテ、提出案

ノ「國稅滯納處分」ヲ「國稅徵收ニ改ム」ト云フノハ、其「國稅」ノ二文字ヲ一箇所ニ

於テ削リマシタ——第二十二條ニ御報告ガ落チマシタカラ、更ニ御報告シマス「第二十

二條第一項中」云々トアルノヲ「第二十二條第一項第二項第三項ヲ左ノ如ク改ム」

ト、斯樣ニ修正シマス、第二十八條ハ提出案ヲ削除致シマス、第三十一條デハ「第

四條第五條第十條」トアル次ノ「第十一條第一項」ト云フ、此七文字ヲ挿入シテ、修正

シマス、他ハ提出案ノ通デス、尙二十二條中ニ報告ガ落チテ居リマシタガ、第二十二

條中ノ四ト云フノハ、自然ノ結果、消ヘテ居リマシタカラ、ソレデケハ消滅シタモノト御認

メヲ願ヒマス

○內務技師野田忠廣君 是ハドチラカニ御極メヲ願ヒマス、三十一條ノ提出案ニハ

「當該官吏ノ尋問ニ應答セス」トアルノヲ、昨日御相談シマシタ時ニ、修正案ノ方デハ尋

問ニ對シテ答辯ヲナサス」トアル、是ハドチラカニ……

○委員長晴登君 三十一條ノ唯今野田君カラ言ハレタ所ハ、委員ノ決定通テ私ノ

御報告ガ落チタデアリマシタ、當該官吏ノ尋問ニ應答セス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタルモ

ノ「トアル」當該官吏ノ尋問ニ對シテ答辯ヲ爲サス若クハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタルモノ

ト、斯樣ニ委員ノ方デハ修正ヲ致シマス、尙ホ此提出案ニハ附則ガアリマセヌデシタカ

ラ、附則ヲ附ケマシタ、即チ施行期限ヲ定メマシタ、即チ「附則本法ハ明治三十八年七

月一日ヨリ施行ス」ト云フノヲ、追加致シマス、尙ホ此場合ニ於テ一ツ政府委員ニ註

文シテ承諾ヲ得テ、置キタイコトガアリマス、第十九條ノ二ヲ挿入シタニ付イテ、手當金ヲ

當局カラ出ス場合ニ於テハ、命令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フニ付イテ、其命令中ニ斯樣ナ

ルコトヲ規定シテ貫ヒタイ積リデス、即チ家屋書入等ノ場合ガアルダウト思フカラ、其

書入ノ場合ニ於テハ、必ス債權者ニ向テ、之ヲ通知スル交付金——手當金ヲ誰ニ渡

スト云フコトヲ、通知スルコト、其次ニ書入ニナッテ居ルコロノ、家屋ニ對シテハ、其債

權者ノ連署若ハ承諾書ヲ添ヘテ來ナケレバ、渡サヌト云フ制限ヲ置イテ貫ヒタイ積リデ

ス、是デケハ政府委員ニ向テ一言申シテ置キマス、此場合承諾ヲ得テ置キタイ、又施行

期限ニ付デモ、承諾ヲ得テ置キタイ

○政府委員窪田靜太郎君 唯今ノ御尋ネノ手當金通知及交付金ニ付イテノ承諾書

ヲ添ヘルト云フコトハ、至極御尤モト存ジマスノデ、命令ガ規定致シマスコトニ致ス積リ

デゴザイマス、左様御承知ヲ、施行期限モ御修正ノ通デ差支ナイト思ヒマス

○委員長長晴登君 尙ホ伺ヒマスガ、此改正ノ委員會ノ案ニ對シテハ別段御異存ハアリマセヌカ

○澤田耕治郎君 至極結好ト思ヒマスカラ、同意ヲ致シマス

○山根正次君 私ハ此修正ニハ、私ノ今申ス次ノコトガ容レラレナイト云フコトヲ、非常ニ遺憾ト思ヒマス、ソレハ癩病ノ取締ニ付イテ、此場合ニ依ッテ云々ト云フコトハ、癩ヲ此中ヘ加ヘルコトヲ抜クコトニ付イテハ、反對デアリマスガ其他ハ修正ニ同意ヲ致シマス、ソレダケ申シテ置キマス

○委員長長晴登君 政府委員ニ於テモ、他ニ御異存ハアリマセヌカ若シ御異存ガアルナレバ、此場合ニ於テ御意見ヲ伺ヒマセウ

○政府委員窪田靜太郎君 此御修正ニ對シテハ、別ニ異存ハゴザイマセヌ、同意ヲ表シマス

○委員長長晴登君 此場合尙ホ承ハテ置キマス、御異議ガナケレバ、是デ決シマスガ、何分多數ノ文字ノ修正ガアリマスカラシテ、文字ノ修正等ニ付イテ、或ハ報告ノ中ニ於テ、少シ意味ノ通ゼヌコト、或ハ文字等ニ於テ、間違ッタ報告ヲシテ居ルナラバ、議長ヘ報告スル前ニ於テ、意味ノ違ハヌ點ニ於テ、其他整理ヲスルコトヲ、御任セアランコトヲ願ヒタイ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長晴登君 ソレデハ本問題ハ決定ト致シマス

午後零時五十一分散會